

# 日本語を書くトレーニング

新しい表現法のテキスト

2002年12月刊行予定

ワーク2 レストランのメニュー

**課題1**

夜のメニューは、レストラン「シェ・ダボワール」のもので、お客さんの側から見てこのメニューの問題点をできるだけたくさんあげ、その問題点をなくした、よりよいメニューを作ってください。メニューの構成を大きく変えても構いません。メニューの内容を必ず変更し直してください。

シェフお薦めコース
アミューズグール
オムレツ
または
南島のスープ
または
魚の煮付けがけ付合 (14,000)
真鯛のソテー (14,000)
または
鱈のポワレ (14,000)
地鶏のブraise
または
真鯛のロースト (15,000)
デザート
魚のタルトとスロウシンカーベクト
コーヒー
紅茶
ハーブティー
パン
¥8,800

ワーク5 お願いのメール

**レポートの提出期限を伸ばしてほしい**

野田さんは例年通りの「社会学概論」を受講しています。ところが、レポートが課された数週間前になって、上記の先生が休職になり、先生と講義の進捗が合わなくなりました。レポート提出の期限が近づいてきているため、野田さんは先生に次のようなメールを書きました。

●メール1

先生の授業を受講している前陣でございます。今日、急に実家に帰ることになり、レポートの提出の期限が延びてしまいました。少し延期を認めていただけないでしょうか。ご返信をお願いします。

野田さんは自分のパソコンからこのメールを出した後、すぐに原稿を添えて郵送しました。送った後から、講師が休職しているというメールが来たのですが、野田さんの携帯電話では返信することができませんでした。

●メール2

社会学の専攻です。レポートの提出期限を伸ばしてほしいとのことですが、実家へ帰る理由は何でしょうか。提出期限が延びています。ただ何もできていないのでしょうか。そうだとすれば、多少延期を認めていただけないでしょうか。もちろんしても、出席、受講料は必ずお支払いします。今後の予定などもお知らせください。

野田先生のメールも参考にしながら、野田さんのメールの問題点を考えてください。

「作文」ではなくて、具体的に誰かにあてて書く文章をわかりやすく表現するにはどうしたらいいんだろう？

高校生・大学生の実際の言語活動を意識して、直筆で書いたり読んだりする文章よりもメールやレストランのメニューなどを題材にする。

身近な題材から分かりやすい文章を学生同士や先生と議論しながら考えていくことができる。

大学の文章表現の授業に新しい風を吹き込みます。

予価 1000円 B5判 128ページ  
野田尚史・森口稔 著 ひつじ書房



詳細は、[www.hituzi.co.jp/workbook/](http://www.hituzi.co.jp/workbook/)

見本をお送りしますので、[toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp)までお問い合わせくださるか、下記のご記入の上ファックスでお送りください。

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_  
予定講座 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_